

令和3年度第2回神奈川県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会 開催概要

1 開催日時 令和4年3月2日（水）14時00分～15時30分

2 開催場所 関東職業能力開発促進センター131会議室

3 主な議題

- ・令和3年度事業実施状況について
- ・令和4年度事業計画について

4 議事経過

各委員からの主な意見等は以下のとおり。

【離職者訓練】

昨年度末からツイッターを使った広報、離職者訓練のプロモーションのビデオ、キヤッチコピーが工夫された非常に分かりやすくビジュアルも綺麗に纏められたパンフレット等広報に工夫がなされていると思う。その効果が、様々な所に現れていくのではないかと。広報というのは、やったからすぐそれが実績に見えるものではないが、少しずつ続けられる事が一番大事だと思うので、引き続き期待させていただきたい。

【事業主支援】

在職者訓練は、近年ニーズが高まっているが、コロナ禍のダメージにより落ち込んでおり、非常に悩ましい所ではある。ある程度コロナ禍が落ち着けば、またニーズが高まり注目され、受講者が増えるのではと期待する。

ハローワークの求人の部門と連携して事業主の方々に在職者訓練に関する情報を提供するような協力もできると思うので、引き続き連携をとっていきたい。

企業の体力をどうつけ、今の時代にどう立ち向かっていくか、今このコロナ禍で、むしろ積極的に経営を改革し従業員の能力を高め、そして新しいチャレンジにどんどん打って出られるという力を持つことが欠かせないと思う。その為に、生産性向上支援訓練は、非常に大切な役割を果たしていると思う。

【高度職業訓練】

横浜といえば港と言う事で、港と共に発展してきた街で、その港を支える人材、特に若い方を育てるところとして、港湾カレッジは、色々重要な役割を担っていると思う。正社員の就職率も100%を達成し、地元の学生が多いこともあり、地元、横浜の港で働けるという、最近の若い方は単に給料だけではなくやりがいを大切にすると聞く。単に給料だけでなく、やりがいなどを訴える広報を実施すれば良いのではないか。

神奈川県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会委員

三井 逸友 (会長)	(横浜国立大学名誉教授)
萩原 常康	(日産モノづくり大学校長)
名和 聖高	(愛知大学名誉教授)
吉田 勝行	(株神奈川新聞社統合編集局経済部長)
新 敦	(U Aゼンセン神奈川県支部長)
金井 克之	(連合神奈川副事務局長)
二見 稔	(神奈川県経営者協会専務理事)
大竹 准一	(神奈川県中小企業団体中央会副会長兼専務理事)
伊東 祐治	(神奈川県商工会連合会専務理事)
鈴木 良尚	(神奈川労働局職業安定部長)
木本 睦子	(神奈川労働局雇用環境・均等部長)
井上 秀夫	(神奈川県産業労働局労働部産業人材課長)